グローバルな 「中庸 (ワサティア Wasatiyyah) 運動」 |構想

モハ 杉本一郎 メド・ファウジ・ヤコブ 訳

※本稿は、2014年7月1日に東洋哲学研究所で行わ は訳注です。小見出しの一部は訳者によるものです。 れた講演内容に加筆していただいたものです。〔

という課題と、それに対する取り組みについて語った。 を行うよう招待を受け、マレーシアにおける複合社会 レーシアの政府、 2 ĭ 0年の年末、私は東洋哲学研究所で短い講 宗教団体、 市民社会、すべての宗 演

> 研究所ホームページの論文BOXに収録されている〕 Studies vol. 21 (2011) に掲載。邦訳は『東洋学術研究』 教の信徒個々人による様々な取り組みを紹介し、 の多元的共存への挑戦」として掲載。ともに東洋哲学 第50巻第2号(2011年)に「マレーシアにおける宗教 て述べた。〔訳注:講演原文は The Journal of Oriental 国民が喜んで受け入れるようになるための挑戦につい んずく国民統合の方法としての多元主義をマレーシア

つまり中

庸 私

穏健運動を紹介したい。これはマレーシ

本日、

は前回の話を更に進め、

ワサティア運動

いこうというものである。
宗教間の理解と寛容性による世界の平和へと協働してレベルへと高めるとともに、世界の国々を巻き込んで、レベルへと高めるとともに、世界の国々を巻き込んで、ア政府が先導し、モハマド・ナジブ・アブドゥル・ラ

明し、 実行されてきていると述べている。 を有しているとし、 対抗する武器として中庸運動は大きな潜在力と影響力 65 値観を具体化するための活動とプログラムが企画され、 ここではまず、ワサティアの意味について説明する 回国連総会の席で、 ナジブ首相は、 好評を博した。 2010年9月27 ワサティアの思想とその原則 この 首相はスピーチで、 中庸運動に関する考えを表 日に開催され 過激思想に た第 活価

ものである。

ワサティアの定義

ところから始めたい

義の主要なふたつの源泉「クルアーン」と「ハディース」りクルアーンと預言者の言葉である。イスラム教の教ワサティア(wasatiyyah)とはアラビア語であり、つま

は普遍的であり、言語・民族・宗教の違いを超越した教に限定されるものではない。そのメッセージと理想の言葉なのである。とはいえ、ワサティアはイスラムの言葉なのである。とはいえ、ワサティアはイスラムの言葉なのである。とはいえ、ワサティアはイスラムの言葉なのである。とはいえ、ロサティアはイスラムの言葉なのであるのではない。そのメッセージと理想が、ロージをはいるのではない。

ティアという言葉が派生している。 サリサティアという言葉が派生している。また「優れた」「卓越した」 を翻訳されることもある。その起源はクルアーン(2章と翻訳されることもある。その起源はクルアーン(2章と翻訳されることもある。その起源はクルアーン(2章と翻訳されることもある。その起源はクルアーン(2章と翻訳されることもある。また「優れた」「卓越した」 ですってという言葉が派生している。

例えばマレーシアの著名なイスラム学者であるモハマ学者にとって、ワサティアは中庸を超えた意味をもつ。同義のごとく見なすことに留保をつけている。多くの一般的に、イスラム学者はワサティアを中庸とほぼ

よれ ず、 awsat-u-humという言葉が使わ 見 あり、 サ 的 る。 中 の一人]の認可を得てアマッド(Ahmad)が伝えたことで 移住した後、 ナ 義という意味を含めるの 句についての多くの注釈者の 1 イド・ な見方が要求される。そこでカマル 庸といった特性も暗に含んでいるが、 (wasat) を、 ば そうした特性にふさわ 預 感情や偏見、 マル・ を支持するものとして、 それによれば、 言者の慣行録〕 アル 多くの注釈者がアワサット 彼を助けたメディナの人々「アンサール」 クダリ サン 預言者は正義の意味に解釈したのである。 先入観にとらわれないためには客観 は、 〔預言者がメッカからメディナに ワサティアの語源となったワサ を基としてい 正義という言葉は平衡、 は しい言葉なのだと論じてい ハディ wasatと同じ 意見を用いる。 n てい るク る。 1 (awsat) は スもしくはスン N これは、 それのみなら 語 ア 自 を「〔複数 力] 源をも 身 マ 0 ン 均 . の アブ ル 衡 0

> その意味を でwasatな存在であるとしているが、イスラム学者は こで参照しているスンナでは、 であることからわかるはずである。 の中で最も素晴らしく、 いるクルアーンの民を表現したものであり「アラブ人 のことは、 越した」という意味でも理解されているのである。 のなかで〕 アラビア語のwasatという言葉は「優れた」もしくは おける用法と同様に、 した」をも含めるのは、 ワサティ awsat al-Arabという言葉が、 最も正しいもの」と解しているのであ ア 「彼の属する民の中で最も高貴な系譜をも **О** 意味 0) アラビア語の用法によってい 中に 最も高貴である」という意味 ハディースもしくはスンナに 「優れた」もしくは 預言者はその民のなか また、 預言者が属して カマル 「卓 がこ

0

鍵となる含意、

つまり

「正義」「卓越」「平衡

ル

サンは、

ワサティアは概念として、

は

を網羅しなければならないとしている。

れ つい [正義などの] 5 確な意味であるとしている。 力 ń ては問題ないとしている。 マ ルは、 てきたし、 三つ目の含意であ 他のものを犠牲にしてまで実現しなけ wasatという言葉から導 この含意は広く受け入 力 る マ 中 ル 庸 はまた、 き出 0) せる最 妥当性 中 庸 は

明

つ」と解釈している。

が明 てである。すなわち、 庸が正義、 らである」と。 がなければ中庸もないのであり、 アーンとスンナを基準にして決まることである。正義 う努力する。それが中庸なのである。 ことを守り、 しなさ(tafrit)」の中間に立つということであろう。中 言うところの「過度・やりすぎ(ifrat)」と「放縦・だら 禁じられた2つの極端な立場、つまりイスラム学者が スラム教は卓越性を要求しているからである。むしろ、 ^確に禁止していることを犯すならば正義はない 卓越、 万事において卓越したものを実現するよ 中庸とは凡庸性ではない。なぜならイ 平衡を意味するのは、この点におい 善を為し、イスラム教が命じる クルアーンとスンナ

「過激思想に対抗するための運動」に

国際的支持

定義され合意されてきた意味で使われている。すなわサティアという言葉は、多くのイスラム学者によってナジブ首相が数々のスピーチのなかで用いてきたワ

った理想を実現できるのである。中庸を保つことによって、同時に、卓越性や正義といいは中庸を強調し、過激な思想を避けるよう強調する。アは中庸を強調し、過激な思想を避けるよう強調する。う〕多元的社会で国民統合を推進する手段として、ま

国際会議でも同様の見解を述べ、同じように高い評価総会演説にとどまらなかった。国連での演説後、他の(GMM: Global Movement of the Moderates)の訴えは、国連

ナジブ首相の「グローバルな中庸

(ワサティア)

運動」

ベルギー・ブルッセルでのアジア欧州首脳・閣僚会合、ド大学のイスラム研究センター(2011年5月6日)、を受けた。そのなかには、イギリス・オックスフォー

ホノルルの東西センター(2011年11月12日)でのスの英連邦政府閣僚会議(2011年10月30日)、ハワイ・会議(2011年6月3日)、ハワイ・会議(2011年10月30日)、ハワイ・リンガポールで開催された第10回アジア安全保障首脳

ピーチなどが含まれている。

国際的な支持に励まされ、ナジブ首相は2012年

ばならないものではないと戒めてもいる。「それはクル

ち、

3つの特性を含んだ意味である。 〔マレーシアとい

平 Movement of Moderates Foundation) 並 クト 対して、 関であり、 G 義などの尊重」を更に追求していくものである。 W 力に向けての他の取り組みを補完する機関である。 ヤンペー ワ サ 0 Μ 衡、そして民主主義、 Mは首相府に属して活動し、 び 拠り所として活動」 Μ テ F ーグ 0 イ ンの 政 は、 組 「過激思想に対抗しようという全ての人 ア 府 口 研 ための資材を提供 機 この努力を国際的なレベルで先導する機 的 1 究 関 支援を行う機関として「マレーシア バ か非政 所 ル 中 (IWM : Institut Wasatiyyah Malaysia) 法治、 庸 する。 府機関かを問 運 教育、 動 「あらゆる面での 財 グ の開設を発表した。 团 口 人間 1 連帯するため (GMMF: The Global わず、 バ の尊厳、 ル な対話と協 情報とキ 社会正 中 一方、 人々に 0) 庸 第

頁

G

Μ

Μ

に関する国際会議を開き、

この

プロ

ジ

我

ワサテ イア (中庸

何 がそんなに目新 ίJ 0 か

中 庸 G ば М 特 Μ 国 に目新しいものではないと述べた。「これまで [際会議 0 開会式スピーチで、 ナジブ首相 は

> 万事に 手紙」4章5節 健は全ての行動のなかで最も良きものであると説 も不可欠のものである。 こそ人間の本性にかなう道 そのやり方自体が中 に宗主 道教と儒 の寛容を、 の道として、 ての文明がその上に基礎を置くべき岩盤であります」 た生活を指し示してい に教えている。 人々は常 るが、このことをイエス・キリストは その通りである。 お 玉 教に いて中 に中 みんなの人に示しなさい」〔「ピリピ人への 英国 イスラム教のみならず他 お 庸 仏教徒は「中道」を歩めと教えられ 庸 V の道を選択してきました。 か ては陰 口語訳〕と説き、ユダヤ教の律法は、 が 5 庸 実際のところ、 あるべき生き方」であると信徒 の証 どのように独立を勝 預言者ムハン 陽 (fitrah) 左でありました……。 0) 法則 であり… ががバ マド 中 0 信仰 ランスのとれ 「あなたが 庸 1 9 5 7 は は ち得 K 中 人 世 庸 お 間 た 中 本 11 0 た 伙 7 穏 7

11

進する機関が存在してきた。 ちなみに、 前から、 その ナジブ首 他 0 相 地 域 が に Ι もイ 力 W タ Μ í ż Þ ラ Ġ ル Á 大学イ Μ 教 Μ 0) F ・スラ 中 で 庸 演 Ĺ を 説 推 研 す

る以

化のための中庸会議」のふたつが、その例である。 カラダウィ・センター」や、ヨルダン王とヨルダン・カラダウィ・センター」や、ヨルダン王とヨルダン・

伝統思想を新しく適用

トが ク誌 す西洋 説に目新しさを見出し、多くの指導者やジャーナリ 中心で重要な位置を占めるよう訴えたナジブ首は 次のように述べた。「……このたび〔マレーシア総選挙 ンで開催された第9回世界イスラム経済フォーラムで、 キャメロン英国 はこれまでとは異なるアプローチを用いている」。また、 ストの脅威を強調したり、 「これまでの人たちは、スピーチにおいて、 会でのナジブ首相のスピーチを以下のように賞賛した。 それでも世界は、 強い関心と支持を表明した。米・アトランティ の特派員であるジェームス・ファローは、 の覇権主義を論じてきた。しかし、 育相は、 G Μ 2013年10月29日、 Μ 他の全ての脅威を打ち負 の運動が地球という舞台 ナジブ首相 時にシオニ 国連総 口 相 コンド 0 ッ ス 演 0

歓迎されるべき行動である

ことを再確認する。 こに集った〕 容と平和的共存という普遍的価値をより深く認識させ 的 第 アがGMMを通じて中庸 となることを認識する。 対抗して、 より安全で平和な世界の建設へ協働するためには全て 信条が平和のためにコミットしていくことを再確認し、 理解させるために貢献していることを認識する」|[こ ならびに政府は、 次のように歓迎された。「〔ここに集った〕 に対抗する世界の人々を団結させ、 を先導する指導者であります。 めには、 の宗教・信条が中庸 16 な貢献をしていることを認識し、 再選されたナジブ首相は、 口 非 中庸が重要な価値であり、 同盟諸 対話と相互尊敬 国家の首脳ならびに政府は、全ての宗教 国首脳会議において、 全ての宗教・信条が現代文明 更に、 穏健を訴えることが必要である この意味 の推進を先導していることは あらゆる形態の過激思想に 理解と受容を推進するた この グロ K 勇気づけてい お 文明間の対話が ーバルな中庸 共通のアプロ 運 G M 13 動 は、 国家 Μ マ 過 0) 活 K 0 ます」。 激 シシ 首 運 1 価 動 思 寛 ば 動 脳 値

306

清

更に明

確に

示されたの

は

ナジ

・ブ首相

0)

前

0

アブド

アマ

ッド ハ

[第5代]

首相が推進した

0

交政策の決定に際しての民衆参 のである。 想と構想が、 関係と外 G Μ Μ ここでは、 が 政 実施してい その 府間外交を補完する民間外交の強 お ける新 Í 世界平 的 じい 0) る事業の ために -和と調知 アプロ 実地に 成 画の拡大、 和を目 果は、 1 チ 適用され K さらに 指 ح ず中 b れらに 反 化 映 て 庸 કે 国 0 外 対 思 る

するその影響力は新鮮である。

K 近 使

ことに骨の折れる作業なのである。 すべての人が恩恵を受ける発展 は異なる安全保障上の危機」「民主主義とガバナンス ル いう5つの分野での努力がある。 践するためのアイデアや構想、 青年・女性の市民社会への参加_ [意思決定・合意形成のシステム]] 「社会的 また同様にフレッシュな取り ネットワークを活用する〕 祉や安全など」 0 達 成 イスラム法による基本的 指 「数を伸ぶ デジタル外交」「従来と 戦略を発展させようと 組みとして、 すなわち「〔ソーシ の5分野である。 ば してい くのは、 中 体性と、 庸を 目 足 標 実 ま

歴代政権の中の |ワサティア|

より 中にも、 では、「イスラム教的価 たのである。 81年〕という初代から第3代までの首相による ラザク・ 宣布されるべき価値のひとつだったのである。 〔muhibah /思いやり〕という概念のもとに含まれてい 価 W わ ゥ b 蚏 ル・ れ、 レリ 値としては、 規律、 Ŏ 確になった。 幾分不明瞭な形ではあるが、 フセイン ラーマン は、 シアでは 般的 協力、 続くマハ 過去の政権にもあった。 ĸ 現在、 [任期1957~70年]、アブド なってい [70~76年]、 信 高潔、 マ 用 ティ ハ 値の鼓吹」という政策におい テ ワ 責 感謝が挙げられ / イ ー る。 Ý 任感、 ル政権 ケティ ル フセイン・オン とはいえ、 の考えでは、 アという言葉は広く 誠 [81~2003年] 実 トゥ 友好とか 献 この 身 その 政 4 概 勤 $\overrightarrow{76}$ 策 アブ 庸 ル 勉 て、 他 は 0

スラム・

ダリ

(Islam Hadhari ダウィ

/文明的イスラム) 」

0)

が概念

ろう。 対的 が以前よりも頻繁に見られるからである 族 は常に用心しておく必要がある。 思えるからだ。 1 は低調で、公的な支援をあまり受けていない。 Institute of Islam Hadhar)」を設立した。 究 広めるために、 うとしたのである。 て りにされるということを示しているのであろうか? ついても顕著な活動を耳にしない。これはプロジェ マレーシアには他に多くの緊急を要する仕事があると 約 レーシア国民大学の「イスラム・ハダリ研究所 おそらくそうではないだろう。なぜなら、当分の 0 所 ?には国内紛争を避け得ている国に入ると言えるだ 推進者が権力を失うと、 いてである。 (International Institute of Advanced Islamic Studies)] しかし、 庸もしくはイスラム 宗教的な緊張や不和をかきたてる言論や出 バダウィ首相 安閑としてはいられない。 現在の状況から見て、マレーシアは相 彼は、 イスラム・ハダリのメッセージを 宗教の過激な捉え方に対抗し の文明的 設置された機関もなおざ ば 「高等イスラム国 なぜなら、 現在、 なあり方を広め マレーシア 前者の活動 近年、 後者に 来 (The と、 際 間 民

> どした〕、LGBT(性的少数者) 法規。厳罰を含む〕導入についての論争、 的差別の主張、 う言葉の使用についての争い、 リスト教出版物ならびに聖書におけるアラー キリスト教への大量改宗の申し立て、子どもをどち のほか多くの の頭を、 ある宗教に対する他宗教の信者による不敬行為、 の親の宗教に改宗させるかをめぐる親権上の争 で書かれたバイブルの没収、 ることができる。 西 「暦2000年以降にしぼっても、 ヒンズー教徒を侮辱する目的で投げ捨てるな 問題がある。 フドゥード法 葬 、儀場での遺体持ち去り、 マレー人イスラム教徒 【Hudud /イスラム に関連した諸問題 ヒンズー寺院の破壊、 多くの 牛頭事件 マ の神とい 例を挙げ レ 刑罰 宗教 Ì 华 7 丰 語

まず 何件も起きている。 しく見れ おそらく、 「葬儀場での ば これらの出来事のい 問 題 遺 0 最近では、ペナン島のアパートか 体持ち去り」事件だが、 ポ 1 ント が 明 くつかを、 らかになるだろう。 よりくわ 数年来、

じた。 ピ してい 好 という名前〔ムスリマ名〕ももっていた。遺族は、 教 場 で見送られ、 女 うな事件は宗教 遺 仏教徒であると認識しており、 ラム教に改宗し、 れ 0 たので愕然とした。このような場に ú た 例 体 リピリ む 0 埋 イス で を役人に 野党の幹部 現 あ る間 彼らの主 4 葬をすべきであり、 れ テオ・ した時 ラ 日 4 彼女はイスラム バ 教 渡 1 チェ 徒では ナン 遺 間 b 課当局 した。 張によると、 . ウ ナンの が続 族 ノラ・チェ 加わって、 ルは、 ン ・ 0) ガントゥン火葬場で火葬され ない 野 イ N の浅慮と無神経を示す チ 党の たが、 スラム宗教 イスラム法高等裁判所 本件を裁判で争うよう助 教 エンは最終的に道 0 遺体を差し出すようにと命 ド で遺体 彼女は1996 指 ン・ビンティ・アブド 徒であるか 導者に 結 改宗のことも知らなか ラマの 局 を 課 遺 家族はし ヤ 乗り込むことを 0 役 族 マ がに戻 場のような 人達 教 好 年にイ イ 都合 彼女が ・スラ が Š 0) た。4 んよう 葬儀 しぶ 0 彼 ょ

b

が落下

し 2 0

1

年6月7日に亡くなったテオ

エ

ン

0)

1 4

ス

が

あ

る。

家族が

彼

女

0

葬儀

進 チ

な い5 を追跡 たちの 去り、 権上 度命じら 権を彼に与えた。その後、 年4月、 ブドラというムスリム名を得たとしてい そのうちの 女の子を前妻に返すよう命じられた。 たと言わ ンはイスラム教に改宗して、 インディラ・ ポ 子どもがどちらの 0 1 单 前 争 高等裁判所は彼に逮捕状を発令した。 親権を認め、 とのことであり、 れても応じず、 れている。 妻が知らないうちに、 彼は2歳、 ひとつは、 に関しては、 ガ ンジー 親 11 $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{array}$ イスラム法裁 K・パトマナサンと、 歳、 による争いである。 の宗教に改宗するかをめぐる親 最近、 そのため20 12 歳 の この事件はまだ収 高等裁 年3 モハマド・ ふたつの事 イスラム教に改宗させ 判所 判 3人の子どもを連 月 前 1 は は 前 しかし、 4年5 る。 IJ 夫は一 前妻に子ども 3人全ての 件 ズアン 前妻の が 20 警察は トマ 束 月 あっ 彼は 番 30 ナサ 下 0 Μ H 彼 n 何 9 P 0

導入に関する議 念を生じさせている。 「フド ゥ K 法 論 は、 す なわちイスラム法に基 「マレーシアは マレー シア各界に イスラム教国とい ろ づく刑 ろと縣 法 イ

も適用すべきだ」という見解を示した。これに対し、 は、 ンプール近郊の〕シャー・アラムで行われた宗教学者 だめられた。しかし、 用されるであろう」と示されたとき、人々の不満はな までもが同様 よって罪とされるのである。 導者も含まれている。社会秩序を脅かす行為や言動に 人権団体、 のムシャダド博士が「この刑法はイスラム教徒以外に のフォーラムで、IWM する国民世論が強いので〕彼らの影響力が弱まる危険 い反対声明を出している。さらには連立与党のメンバー インド系のヒンドラフ 人権団体、 斉に抗議した。これによって刑罰の対象となる者に 個人、 (Isma)、華人系のドン・ツォン (Dong Zhong / 董总)、 すなわちマレー系のペルカサ (Perkasa) やイ 与野党の指導者、 公益団体、 の声明を出すこともある。これは、 2014年5月6日、〔クアラル 政治団体、 (Hindraf) などが、しばしば激し (マレーシア・ワサティア研究所 これに対し、 人権団体、 そして個々の市民が 利益団体の指 民族ごとの 〔反対

これらの政党の指導者たちが、しばしばこのような発CA(マレーシア華人協会)、MIC(マレーシア・インドルするためである。UMNO(統一マレー国民組織)、Mルでのである。UMNO(統一マレー国民組織)、M

言をしている。

といった疑念である。「この法はイスラム教徒のみに適

うわけではないのに、

なぜ、この法が必要なのか?」

こうした事件や行動の頻発に対して、宗教間対話を行っているリーダーらは懸念を示している。彼らはまいは偏った対応しかしないことにも不満を表明していいは偏った対応しかしないことにも不満を表明している。彼らはま

行すべきであるという意見をもっているのである。 たいとすぎている にっしたことから、多くのマレーシア人は、ワサティエルによるパレスチナへの武力侵略や暴力行為、ミャンマーの〔イスラム系少数民族〕ロヒンギャに対するンマーの〔イスラム系少数民族〕ロヒンギャに対するする前に――、まずはマレーシア人は、ワサティアの活動をグローバルなレベルで行う前に――イスラアの活動をグローバルなレベルで行う前に――イスラアの活動をグローバルなレベルで行う前に――イスラアの活動をグローバルなレットを

者

が

批判した通りに、

それは

「政治

詐欺」と化して

らされることになるだろう!

もしくは、 的

野党の

治指導

かもしれない。

報道によると、(2014年) 6月末、

ナ

しまうだろう。実は、ほとんどそうなりかけているの(゚ア)

においても、この思想そのものがとりたてて価値をも 玉 っているわけではない。 民統合においても、 ワサティアの 思想は、 また国際協力・ 正確には新しいものではない。 国際理 解 0) 推 進

れ、 レーシアを過激思想に立ち向かう仲間 で成功するためには、マレーシアという地元で実行さ ろう。しかし、ワサティア思想がグローバ 持をもたらした。その先見の明は祝福されるべきであ ナジブ首相は、この思想に対する国際的 軌道に乗せなければならない。さもなければ、 の国と見なして ルなレベ な関心と支

思想にも、 取らないであろう。そんなことになれば、 る友好国は、 そのグローバルな運動にも、 マレーシアの構想を額面通りには受け 弔 ワサティ 13 0) 鐘 が 鳴

> 士の勇気を見習いたまえ」と呼びかけたそうなので ジブ首相は ンバーに、「イラクの 〔自身が総裁を務める政党〕 町モスルを奪ったイスラム U M N O 玉 0) 0) 戦 X

Mohd. Kamal 2013

 $\widehat{1}$

 $\widehat{2}$

- Mohammad Haniff Hassan 2014
- The Atlantic 2010年9月号

3

- $\overline{4}$ The Star Online 2014年6月15日閲覧
- 6 5 Malay Mail Online 2014年5月7日付。 The Star Online 2014年6月15日閲覧 年6月6日閲覧

2 0 1

4

Philosophy Politics Economics 2014年6月2日閲覧 2012年1 月 26 日 付

7

The Malaysian Insider 2014年7月10 H 1閲覧

8

Mohamed Fauzi Yaacob

(訳・すぎもと マラヤ大学人文社会科学部・元学部長 いちろう/創価大学教授